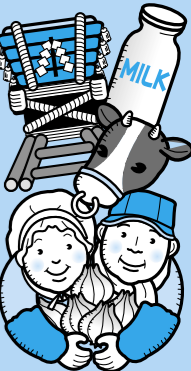


まちかどピックス

地域の催しや明るい話題などが
ございましたら、気軽に広報係
までご連絡ください。
☎43・5002(秘書広報室)



守り続ける文化を熱演

人形浄瑠璃の後継者6団体



▲日ごろの練習の成果を発表する学生たち(南淡中学校)

淡路人形浄瑠璃を受け継ぐ市内の六団体が、日ごろの練習の成果を披露する「淡路人形浄瑠璃後継者団体発表会」(財団法人淡路人形協会主催)が八月七日、三原公民館で開かれました。

とあいさつ。その後、市小学校、三原中学校、南淡中学校、三原高等学校、福井子供会、人形浄瑠璃部、淡路人形浄瑠璃青年研究会が次々と腕前を披露。人間国宝の鶴澤友路師匠と淡路人形座の特別講演もあり、観客を魅了しました。



▲大きなマグロを切り分け、振る舞われました

ダムと自然への理解を深める

論鶴羽ダムふれあいフェスタを開催

ダムの役割を知り自然や環境について理解を深めてもらおうと、「論鶴羽ダムふれあいフェスタ」(南あわじ市・淡路県民局主催)が七月二十八日、開催されました。

この催しは市内にあるダムで毎年行われており、今回で十七回目。



▲ダムの周辺を回るウォークラリー参加者

遊びは子どものカルシウム

夏休みに「あそび塾」を28講座開催



▲作った紙ヒコーキを一齐に飛ばしました

夏休みを過ごす市内の子どもたちを対象に、「あそび塾」(市教育委員会主催)が七月二十一日〜八月二十九日の間に行われ、「夏山登山」や「ミステリアス・ナイトウォーク」など二十八の各種講座開催され、延べ千二百六十人が参加しました。

高年齢者らと連携して運営されています。

自慢のカブトムシで熱い戦い

カブトムシリーグランプリ

カブトムシが木の土俵上で力強さを競い合う「カブトムシリーグランプリ」が松帆活性化センターで、七月二十七日、開催されました。

この大会は、子どもたちに生き物を大切に飼うことを理解してもらうことや、親子のふれあいを目的に、市教育委員会が今年はじめて開催したものです。大会には、市内外から小学生六十九人が参加。それぞれ自慢のカブトムシを



▲カブトムシに声援を送る子どもたち

みどりどんとこいまつり2005

巨大なマグロも振る舞われ、賑わう

地域の活性化を図ろうと、七月三十一日、緑市民センターで「みどりどんとこいまつり2005」(同実行委員会主催)が行われ、約3千人の家族連れらで賑わいました。市民センター前に設置された野外特設ステージでは、阿波踊りや和太鼓、大正琴の演奏などが行われ、ステージを取り囲んで夜店なども並びました。また、商工会青年部のテントでは、全長約1.5メートルのマグロを4時間かけて丸焼きにし、来場者へ振る舞われました。



▲大きなマグロを切り分け、振る舞われました

おめでとう

奈木佑次さん、正木健人さん
柔道・全国大会でメダル獲得



▲8月19日、中田市長(中央)へ報告に訪れ、硬手を交わす奈木佑次さん(右)と正木健人さん(左)

奈木佑次さん(福良、三原・志知高等学校講師)は、八月七日、県立武道館で行われた「第三十回全国教職員柔道大会」で、兵庫県チームの一員として出場し、優勝しました。奈木さんは、五戦五勝し、チームの優勝に貢献しました。

市内の高校生、各種目で全国大会出場(敬称略)



▲上段左から市川、原口、坂本、杉本、新崎、宮地。下段左から畑野、中田市長、望月、田中

- ◆マドンナカップIN伊予市ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権
新崎美希・富地麻奈美ペア(志知高校) 〓ベスト8、市川絵梨香・原口望ペア(三原高校)、杉本弥奈美・坂本有里ペア(同)
- ◆全日本ビーチバレージュニア男子選手権
望月聖矢・田中省吾ペア(三原高校) 〓ベスト16、畑野翔太・黒田浩二郎ペア(同)
- ◆インターハイ・走り高跳び 佃 優貴 (三原高校)
- ◆インターハイ・重量挙げ (八十五キロ級) 仲尾 和也 (淡路高校)

淡路人形浄瑠璃で歓迎

大連市の中学生が三原中学校を訪問

中国の大連市から中学生4人が親善のため、八月十八日〜25日まで南あわじ市に滞在しました。これは淡路三原ロータリークラブ(日種顯夫会長)が招いたもので今年で2回目。20日、訪問団は三原中学校(辻川一之校長)を訪れ、部活動の見学に回りました。

郷土部では、淡路人形浄瑠璃を鑑賞した後、部員から人形の遣い方を教わりました。劉暢くんは「皆んな真剣に取り組んでいた。日本の伝統芸能に触れて、面白かった」と感想を述べていました。



▲郷土部員から遣い方を学ぶ大連市の中学生